

## 千葉市科学館アストロトーク 中秋の名月、月探査について知ってみよう！

9月30日（日）千葉市科学館アストロトークに参加しました。「中秋の名月」とは、旧暦の8月15日（十五夜）のこと、昔から月を眺め、お供え物をする習慣がありました。はじめに国立天文台の岩下由美さんによる星空解説です。科学館の満天の星空の下で、ちょっとだけ早くお月見を楽しみ、その後夏から秋にかけての星座のお話を聞きました。

続いて会津大学・寺薗淳也先生の講演です。まず「中秋の名月」についての由来とクイズがあり、そしてこれまでの月探査の歴史について話していただきました。日本

の月探査機「かぐや」についても

紹介していただきました。高精細

な月の画像で有名になった「かぐ

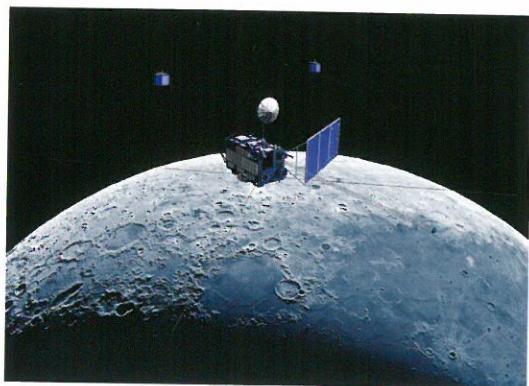
や」は、すでに探査は終了していますが、アポロ以降最大の月探査といわれます。数々の観測機器がもたらした膨大なデータは、現在急ピッチで解析が進んでおり「かぐや」の真価が發揮されるのは、これからとのこと。また「かぐや」につづく今後の探査計画についても教えていただきました。

この日の夜は台風接近による悪天候で月を見ることはできなかったのですがアストロトークに参加したおかげで、素晴らしい「中秋の名月」の日となりました。

増田芳弘



寺薗淳也先生



「(C)JAXA/SELENE」

## 千葉市科学館アストロトーク 30m 望遠鏡で見る宇宙



家正則先生（中央）

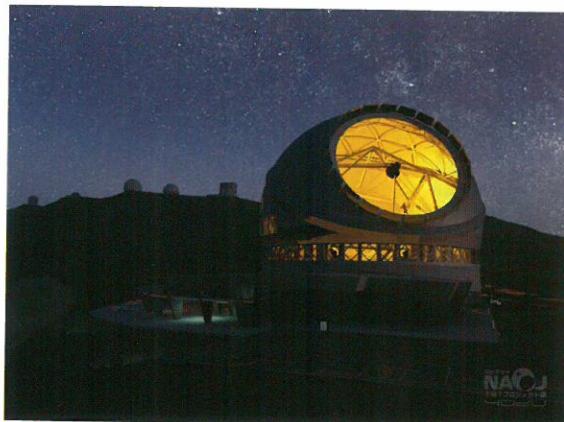
プラネ担当・酒井朋美さん（右）、岩下由美さん（左）

話いただきました。主鏡は、492枚の鏡を合わせて構成し、それをコンピュータで制御するそうです。日本の科学力・技術力にあらためて気づかされる内容で、興味深い講演でした。この超大型望遠鏡は日本のほか、アメリカ、カナダ、中国、インドなど国際協力で計画が進められているそうです。資金面では、まだまだ難しいところで、皆様の応援、協力をお願いしたいとのことです。詳しくは国立天文台TMT推進室へ。最後になりましたが、今回プラネタリウムで使用されたBGMはなんと家先生のギター演奏をお聞きし、その腕前に感心いたしました。

阿部きみ子

1月27日（日）のアストロトークに参加しました。最初に、国立天文台の岩下由美さんによる星空案内、滑らかな解説に冬の星空を楽しみました。

続いて国立天文台教授・家正則先生の講演。まずは、日本の大型望遠鏡「すばる」の新技術や観測成果についてお話してくださいました。鏡を補正する装置、補償光学などの新技術を知り、日本の科学技術のレベルの高さに感心し、誇らしく思いました。さらに最遠の銀河の観測など、世界でトップレベルの観測成果を知り、その素晴らしさに感動しました。そして、今、計画がすすめられている、ハワイ・マウナケア山に口径30mの超大型望遠鏡「TMT (Thirty Meter Telescope)」について、豊富な画像とともにわかりやすくお



(C) 国立天文台 TMT 推進室